

犯罪のない安全・安心まちづくり情報誌

くらし 安全通信

Vol.

5

平成18年1月発行

神奈川県 安全防災局
安全・安心まちづくり推進課

電話 045(210)1111

(内線3515・3516)

FAX 045(210)8953

E-mail: anzenansin@pref.kanagawa.jp

ホームページ

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/anzenansin/anzenindex.htm>



安全・安心まちづくり
シンボルマーク

「あんぜんな 生かつまもる すいきの目」

平成17年度安全・安心まちづくり「標語」コンクール優秀賞作品(小学生部門)



「防犯活動リーダー養成講座」に多くの方々に参加されました。

各地域で開催された防犯活動リーダー養成講座の様子



講師の話に熱心に聞き入る受講生の方々



受講生の方々は、「地域に根ざした防犯活動」に、決意を新たにされていました。

みんなで守ろう子どもの安全

広島県広島市や栃木県今市市において、小学1年生の女子児童が下校途中に殺害されるという大変痛ましい事件が相次いで発生しました。

本県においても、年少者を対象とした声かけ事案や強制わいせつ事件が発生しており、それらがさらに凶悪事件へとつながるのではないかと懸念されます。

身近で起きた惨事に、学校関係者をはじめ多くの県民の方々が不安を募らせ、これまで以上に子どもの安全確保に強い関心が寄せられています。

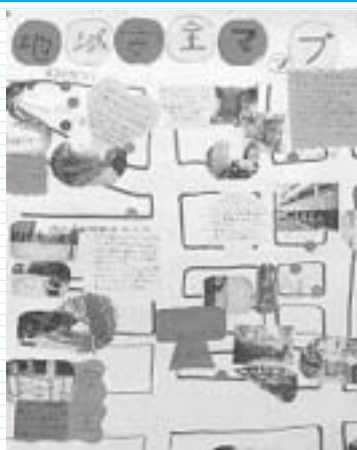
子どもが犯罪に遭わないようにするために大人ができることは「子どもの危険予測能力、危機回避能力を育てること」と「犯罪を許さない環境づくり」です。

子どもの危険予測能力、危機回避能力を育てる

子ども自身による 地域安全マップづくり



出典 東京都作成「地域安全マップをつくらう」



危険に遭遇したときの身の守り方

じぶん み まも きけん こと であ
自分の身を守るために 危険な事に出会ったら



神奈川県教育委員会「おすし」

犯罪を許さない環境づくり

家庭、学校、地域、警察等の連携

- ・通学路における危険箇所の点検、確認
- ・登下校時の危険箇所を中心としたパトロールや子どもの見守り活動
- ・不審者に関する情報のネットワーク化

地域の死角の改善等

- ・不審者が隠れやすい場所を排除するため、公園などの植木の^{せんてい}剪定、暗い道には街灯を設置
- ・子どもが助けを求めて駆け込める場所（子ども110番の家等）の協力



くらし安全指導員がお手伝いします！

「4つのおやくそく」をご存知ですか？

ひとりではぜったい
あそばない

いきさきをはなしてから
あそびに行く



しらないひとには
ついていけない

こわいときはおおきな
こえでたすけをよぶ

くらし安全指導員（生活安全担当）は、県内の保育園や幼稚園、学校などで、誘拐防止教室、防犯講話、地域安全マップ作成への助言などを行います。（費用はかかりません。）

お気軽に県安全・安心まちづくり推進課

TEL.045-210-3520

までお問い合わせください。

子どもを犯罪から守る緊急対策

県では、相次ぐ児童殺害事件を受け、次のとおり、子どもの安全確保に向けた緊急措置を実施します。

地域安全マップ講座の開催

日時 平成18年1月28日(土) 9時30分～15時30分
平成18年2月11日(土) 9時30分～15時30分
平成18年2月25日(土) 9時30分～15時30分
講座は、3回実施しますので、都合の良い日時で受講してください。
場所 横浜市立上飯田小学校(横浜市泉区)
横浜市立山内小学校(横浜市青葉区)
保土ヶ谷公会堂 2号会議室(横浜市保土ヶ谷区)

共通事項

内容 地域安全マップの作成講習
定員 各回30名
費用 無料(交通費等は自己負担)
申込み 郵便番号、住所、氏名、電話番号を
1月23日(月) 2月6日(月) 2月20日(月)までに
電話(045-210-3515)かFAX、Eメール(表紙参照)で
県安全・安心まちづくり推進課までお申し込みください。

安全・安心まちづくり団体 事業補助金追加募集

県民または事業者で自主的に組織する団体が、継続的かつ計画的に、地域の防犯性向上のための活動を開始しようとする際に、その立ち上げに必要な物品購入費を8万円を限度に補助します。

今回は、学校及び通学路安全確保事業を含むものを対象に募集します。

申請期限 平成18年1月31日(火)

申請方法等

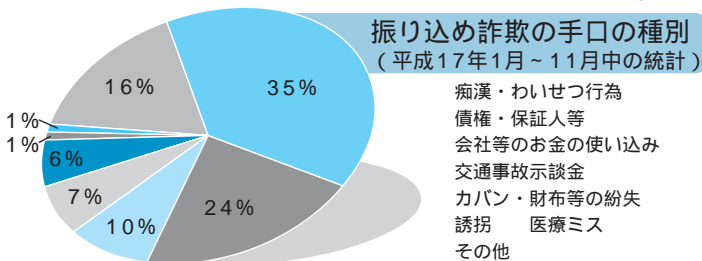
県安全・安心まちづくり推進課

TEL.045-210-3515まで

お問い合わせください。

振り込め詐欺(オレオレ詐欺)に注意!

最近のいわゆるオレオレ詐欺は、警察官や弁護士を装い、夫が痴漢行為を行ったなどと偽って示談金の振り込みを指示する等、手口が巧妙化してきています。(下図参照)



振り込め詐欺対策5か条

いきなり「振り込め」と言われても信じない
あわてず冷静に対応し、一人で決断しない
事実かどうか必ず確認をする
少しでも不審に思ったら、家族に相談をしたり、警察に通報する
絶対にすぐ振り込まない

安全・安心まちづくり県民大会を開催します。

犯罪のない安全で安心な地域社会を実現するためには、県民の皆さん一人ひとりが防犯意識をもって、日常生活の中で防犯対策を進めていくことが重要です。

そこで、防犯活動に関心のなかった方が関心を持ち、既に防犯活動を行っている方がさらに意欲をもって活動に取り組む契機となるよう、安全・安心まちづくり県民大会を開催します。



パンチ佐藤氏



京師美佳氏

日時 平成18年2月4日(土) 13時から
場所 横浜市開港記念会館 講堂 横浜市中区本町1-6
(駐車場はございませんので公共交通機関をご利用ください。)

内容 第1部

(表彰・事例発表)

- ・犯罪のない安全・安心まちづくり功労者表彰及び奨励賞
- ・地域安全マップコンクール

第2部

- ・講演 元プロ野球選手・タレント パンチ佐藤氏
- ・防犯講話 防犯設備士・防犯アドバイザー 京師 美佳氏
- ・大会宣言

定員 420名

参加申込 事業名(県民大会)、郵便番号、住所、氏名、電話番号、参加人数を1月31日(火)までに電話かFAX、Eメールで県安全・安心まちづくり推進課(TEL:045-210-3515)までお申し込みください。

あいさつの行き交う町に、犯罪は起こらない!!

「あいさつ」運動で安全なまちに・ 戸塚区平戸二丁目町内会（横浜市）

横浜市戸塚区の平戸二丁目町内会(宮代勝弘会長)では、すれ違う人にあいさつをして、空き巣やひったくり等の犯罪が起きにくい町にしようと、平成16年8月に「あいさつ運動推進委員会」を発足させ、あいさつの標語、シンボルマークを募集しました。

標語は48点の応募があり、その中から選ばれた作品をのぼり旗やシールに活用して、活動に利用しています。シンボルマークを使用したバッジは、横浜市立平戸小学校の校長先生も胸に付けて、子供達と共にあいさつ運動に取り組んでいます。



あいさつ運動のシンボルマーク



発足総会の様子（出席者約90名）

町内を5ブロックに分け、町内会のシンボルカラーのオレンジを基調とした帽子をかぶり、パトロール等の自主防犯活動を行っています。

平成16年11月からは子供会の協力を得て、月に1回広報車で、平戸小学校の児童による「あいさつ」運動の呼びかけを行ってきました。まさに地域ぐるみの防犯活動です。

そして、さらに運動を広めるために協力者を募集したところ、当初目標にしていた100名を超える110名の方から申込みがあり、平成17年9月24日、「あいさつ運動推進、防犯活動協力110名委員会」が発足しました。

同町内会の梅木武夫副会長は、「無理なく、自主的に、息の長い活動として定着させたい」と話しています。

あいさつ運動の標語

挨拶の輪
広げよう
みんなであわす

僕するよ
いつの日も
家で学校で街角で
明るい挨拶

挨拶で
地域の和
広がる人の和

あいさつは
台言葉
心つながる

町内会のシンボルカラーはオレンジ！



地域活動情報